

令和7年度 第1回 松江市立皆美が丘女子高等学校運営協議会 会議録

- 1 日 時 令和7年5月26日（月） 10時00分～11時00分
- 2 場 所 松江市立皆美が丘女子高等学校 応接室
- 3 出席者
 - (1) 委 員 池田太持委員、大谷みどり委員、高橋泰道委員、樋ヶ通子委員、二木春香委員
（欠席：なし）
 - (2) 事務局 多々納雄二校長、山中清恵教頭、糸川健治事務長、飯塚美加総務主任
- 4 議 題
 - (1) 会長、副会長の選出
 - (2) 学校運営方針等について
 - (3) その他
- 5 議事の要旨
 - (1) 会長、副会長の選出
会長に大谷みどり委員、副会長に樋ヶ通子委員を選出した。
 - (2) 学校運営方針等について
案のとおり承認した。
 - (3) その他
案件は無かった。
- 6 会議経過
 - (1) 会長、副会長の選出
 - ・ 会長、副会長とも、委員より立候補または推薦の申し出はなかった。
 - ・ 事務局より案を提示し、案のとおり承認した。
 - (2) 学校運営方針等について
委員から次のような意見があった。
 - ・ 地域活動や地域資源の活用など、地域性を示す表現がないが、どのように地域と関わっていくのか。
 - ・ 保育・教育エリアはどのように改編されるのか。
 - ・ 国際コミュニケーション科は語学や国際関係の学びなど、一般的な普通科にはない魅力を期待されている。実態としてはどのような状況か。
 - ・ グローバルな感性の育みや女性リーダーの育成などが本校の特色であると思う。引き続き取り組んでいただきたい。
 - ・ ICTの活用について、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用なども取り入れてみてはどうか。

これに対して事務局から次のような説明があった。

- ・ 地域との関わりについては、「まつえ学」で本市全体をフィールドとした学びに取り組んでいる。様々な地域課題についてフィールドワークを重ねて解決策を考え、最終的には市長に施策提言を行う、主体的な学びであり、今後も充実させていく。
- ・ 令和8年度入学生からの学科再編では、普通科と国際コミュニケーション科を統合し、普通科キャリアデザインコースの各エリアを整理統合する。保育・教育エリアは家政・栄養エリアと統合して「生活デザインエリア」とし、生活関連の幅広い学びを展開する。卒業後の進路には引き続き保育士や幼稚園教諭等も想定している。
- ・ 国際コミュニケーション科での学びは本校の特色のひとつではあるが、定員割れが続き、入学者数は定員の半数程度という実態もある。「グローバルエリア」として再編し、本校の魅力ある特色として引き継いでいく。
- ・ ICT教育については、時代や技術進歩に応じたICT活用ができるよう研究を重ねていきたい。

7 事務局等

松江市立皆美が丘女子高等学校 電話 0852-39-0216